



城だより

第688号

日本古城友の会・会報 令和8年(2026)4月5日発行

美濃 松尾山城を訪ねる(5月・第751回例会)

日時：令和8年5月10日(日)現地集合 雨天決行(行程変更あり)

集合：JR東海道線 関ヶ原駅改札口前 9:50 集合

※大阪方面からICカード利用の場合、関ヶ原駅で清算が必要です。例会当日は観光シーズンで駅が混雑する上、関ヶ原駅は無人駅のため、清算にかなりの時間を要することが予見されますので、出来る限り乗車券で乗車していただくようお願いします。

行程：関ヶ原駅 → 藤堂高虎・京極高次陣所跡 → 福島正則陣所跡 → 松尾山登山口 → 東の曲輪 → 主郭(昼食) → 馬出状の曲輪 → 空堀 → 西の曲輪 → 大堀切 → 南西の曲輪 → 下山 → 登山口 → 脇坂安治陣所跡 → (往路) → 関ヶ原駅

※関ヶ原駅から登山口までは陣所跡を見学しながら40分~50分かかります。

※遅くとも15:47発の電車で大阪方面に帰途につけるよう見学します。

アクセス：大阪駅 ⇒ 近江塩津行新快速 ⇒ 米原駅 ⇒ 特別快速豊橋行 ⇒ 関ヶ原駅
(7:30 発) (8:56 着/9:18 発) (9:42 着)

帰路：関ヶ原駅(15:19 発) ⇒ 米原駅(15:40 着/15:47 発 新快速) ⇒ 大阪駅(17:12 着)

関ヶ原駅(15:47 発) ⇒ 米原駅(16:09 着/16:17 発 新快速) ⇒ 大阪駅(17:42 着)

担当幹事：下岡 力・藤岡秀典

持ち物：弁当(事前に用意してください)・飲物・敷物・ハイキング靴・ステッキ・タオル・雨具を必ず持参してください。マスクの着用は各自の判断でお願いします。

参加費：正会員・賛助会員 800 円、通信会員・当日参加者 1,000 円

(資料代・保険代・記念写真代・下見費用として)

問合せ：下岡 力

(開催は新型コロナ感染状況によります。必ずホームページを確認の上ご参加ください。)

【今回の見どころ】

松尾山城は応永年間(1394~1428)に美濃国小守護代富島氏が詰の城として築いたのが始まり。元亀争乱(1570~1573)に際し浅井長政は江濃国境の境目の城として家臣の樋口氏を入れたが、樋口氏が織田信長に下った後は不破光治が在城。天正7年(1579)以降一旦廃城となったが、慶長5年(1600)の関ヶ原の戦いに際し、石田三成は大垣城主であった伊藤盛正に松尾山城の普請(改修)を命じており、西軍の大將毛利輝元を入れる構想があった。関ヶ原合戦前日の9月14日小早川秀秋が守將の伊藤盛正を



(川端義憲氏作図)

松尾山城跡 推定豊元高陣図 引用陣図：高田 勘氏

以上が「藤原純友の乱」の内容である。

※1：NHK テレビ番組「英雄たちの選択 “海賊”平安朝を揺るがす～真説藤原純友の乱～」でも紹介されたが、阪神電気鉄道本線「芦屋駅～住吉駅」の連続立体交差工事に伴って、平成23年・24年に神戸市教育委員会が発掘調査を行い、「驛」「大垣」などが書かれた墨書土器が発見された。（平成26年3月に「深江北町遺跡第12・14次調査埋蔵文化財発掘調査報告書」が刊行された。）摂津国須岐駅は阪神電車（通称）芦屋駅から深江駅の間^{すゝぎ}の立体交差下の付近（神戸市深江北町）であろうと思われる。なお、平安時代の驛とは、平安京を中心として整備され、緊急連絡用の官道（駅路）（今でいう高速道路）に沿って約16kmごとに設けられた中継基地で、公的に認められた使者「駅使」に食料を提供し乗り換え用の馬を準備し、宿泊施設も設けられたところである。なお、テレビ番組では「葦屋駅」の記述で紹介されている。

※2：「追討」：犯人を討ち取る。殺害して首級をあげる。「追捕」：追いかけて捕らえる。武力で抵抗したら殺害することが容認される。「召進」：呼び出して進上する。「官符」：その対処を国司に命じる通知のこと。

参考文献：『物語の舞台を歩く 純友追討記』下向井龍彦 著 山川出版社、2011

(つづく)

日本古城友の会

会 長 中西 徹

事務局 事務局長 平川大輔

H P アドレス <https://www.kojyo-tomonokai.com/>

編集・発行 編集部長 下岡 力